

キラリと光る レ・コードなまち ○団体・サークル紹介○

今月号は、周慶みこしを担ぎふるさと祭りを盛り上げる「氷川若衆会」を紹介します。

【プロフィール】

昭和62年、ふるさと祭りを盛り上げるため「みこし」を復活させることとなり、趣旨に賛同した町内の若者63名が氷川若衆会を結成しました。

結成当初は、みこしがありませんでしたが、地域の人たちの協力を受け二基の「俵みこし」を制作し、ふるさと祭りでは担ぎ方を競う「俵みこし合戦」を行ったことで、町内外から担ぎ手が集まるようになりました。

平成4年には、町章と駿馬の姿が彫り込まれた念願の江戸みこしを購入し、このみこしを「周慶みこし」と命名しました。日本の伝統工芸の粋を集めたこの豪華なみこしは、20年以上経過した今も変わることのない輝きを放っています。

現在、若衆会の会員は100名に達し、ふるさと祭りでは宵宮祭と本祭の2日間、この周慶みこしを担ぎ町内を練り歩いておりますが、担ぎ手たちは、いつも、お祭りに来られた方々や沿道の観客からの応援に元気をもらい、さらに盛り上がりながら最後まで担ぎきることができています。

私たちは、伝統と文化に根差したこの活動を守り、にいかっぷふるさと祭りがより一層と盛り上がっていくよう、これからも活動を続けていきたいと思っております。



【活動内容】

一番大きな事業は、にいかっぷふるさと祭りでのみこし担ぎです。他にも、元旦の午前零時に氷川神社境内にて、町民の安全と豊漁・豊作を祈願してみこしを担いでいるほか、他町で開かれるお祭りにも参加しています。

【会員の募集】

活動の趣旨にご理解いただける方であれば、誰でも入会いただけます。みこしを担ぎたい、一緒にお祭りを盛り上げたいという人がいましたらご連絡ください。

入会申し込み、お問い合わせは、役場町民生活課山谷まで。☎0146・47・2112

小竹町長の動静：7月分

- 1日、地域おこし協力隊員委嘱状交付式
- 5日、認定こども園ド・レ・ミ開園5周年記念運動会
- 9日、日高中部消防組合議会臨時会(新ひだか町)
- 10日、国保連合会理事会(札幌市)
- 12日、ふれいあい家族交流会
- 13日、まち・ひと・しごと創生総合戦略策定本部会議
- 14日、JR日高線被災現場視察、高橋知事と管内町長との意見交換会
- 16日、道内町村と東京23区との連携に関する会議(札幌市)
- 19日、静内駐屯地記念行事(新ひだか町)
- 23日、日高総合開発期成会平成28年度国費関係予算要望(札幌市)、アイバ祭(新ひだか町)
- 24日、サポートセンター「えましあ」開所式
- 27日、農業支援員受入農家交流会
- 29日、日高総合開発期成会平成28年度国費関係予算要望(東京都)

人のうごき

(平成27年7月末現在)

| | | | |
|----|---------|-------|------|
| 人口 | 5,751人 | (前月比) | -9人 |
| 男 | 2,787人 | (前月比) | -5人 |
| 女 | 2,955人 | (前月比) | -4人 |
| 世帯 | 2,723世帯 | (前月比) | -4世帯 |